

～ 園の歌を手話で歌おう ～

5月の歌は「こといのうた」です。

与田 準一 作詞 芥川 也寸志 作曲

今年度は手話ソングと、絵本紹介を毎月ごとに掲載していきたいと思います。5月は手話ソングを紹介します。毎月の幼児クラスの集会でも子どもたちに歌い、披露していきます。昨年も手話ソングを取り入れたところ、子どもたちも興味を持って覚えてくれました。

「ことり」はくちばしの動きや羽根の動きを表現します。わかりやすい動きですから、楽しく覚えていけますね。ご家庭でもぜひ歌ってみてください。



1 ことりは



右手の甲を口元に当て、親指とひとさし指を前方に伸ばして開き、鳥のくちばしのように上下に2回閉じたり開いたりする。

2 とっても



右手の親指とひとさし指の指先をつけて輪を作り、左から右へ弧を描いて動かしながら親指をひとさし指に沿って立てていく

3 うたが



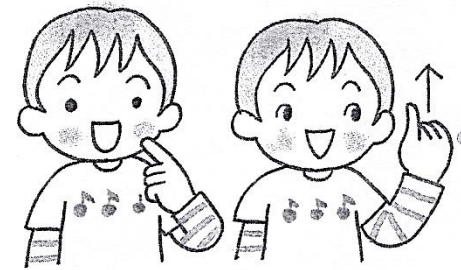
両手のひとさし指と中指をそろえて立て、そのままの形で口の両側から声がかくように、軽く曲線を描きながら斜め上前方に2回動かす。

4 すき



右手の親指とひとさし指を開いてあごの下に置き、指先を閉じながら下に動かす。

5 かあさん



左手のひとさし指でほおを触ってから（「肉親」の意味）、小指を立てて少し上上げる（小指は「女性」）。

●2番

とうさん
〈父〉の手話

左手のひとさし指でほおを触ってから（「肉親」の意味）、親指を立てて、少し上上げる（親指は「男性」）。

6 よぶのも



（左手の小指を残したまま）おいでおいでをするように右手を振る。
*ここでは呼ぶ対象がわかるよう、左手小指（おかあさん）を残しています。

7 うたでよぶ



左手の小指（おかあさん）を残したまま、右手ひとさし指と中指を立てて、そのままの形で口元から声広がっていくように、軽く曲線を描きながら前方に2回動かす。

*ここでは歌詞の意味に合わせて、おかあさんをうたで呼んでみました。
*2番の「とうさん」の場合は、左手の親指を残します。

2番「とうさん」の場合

8 ビビビビ



①と同様に、くちばしをバクバクするように、右手のひとさし指と親指を口元で閉じたり開いたりする。
*ここではことりの鳴き声を「くちばしの動き」で表現してみました。

9 チチチチ



両手を左右に広げて羽のように上下に動かす。
*ここではことりの鳴き声を、もう一つの「鳥」の手話表現を使って表してみました。

10 ビチクリビィ



右手で⑧、左手で⑨の動きをする。
*ここではリズムに合わせて、くちばしと羽の動きを同時に表現してみました。